

「ここに住みたい、住み続けたいまち やちよ」を目指したまちづくりを推進するために

28年第1回定例市議会は、2月23日から3月22日まで開催されました。秋葉統一市長が開会日に述べた施政方針、28年度予算編成、重点施策を紹介し、定例市議会の結果は、4月15日号に掲載します。

施政方針

本市では、昨年10月に人口が初めて19万5,000人を突破するなど、国全体の人口が減少する中であっても、大都市近郊の住宅都市として着実に発展してきており、第4次総合計画前期基本計画策定時点の人口推計からは下回っているものの、最初の2年の横ばい状態から3年連続の増加基調となりました。

第4次総合計画前期基本計画の最終年度、「財政リスク回避戦略2014キックオフ～持続可能な市政運営のための立て直し戦略(2か年プログラム)～」の2年目となった本市の昨年度の主な取り組みを振り返ると、4月に待望の八千代台東小学校新校舎と同校敷地内の八千代台東学童保育所がオープンしたほか、ロタウイルス予防注射への一部助成、6月には「らくらく☆簡単予防接種ナビ」というモバイルサービスを開始。10月には児童のショートステイ事業も開始し、11月には八千代中学校新校舎がオープン、最終年度に該当していた小中学校校舎の耐震改修工事を行うなど、私がマニフェストにも掲げた子育て支援・教育の充実を中心に取り組んできました。また、中央図書館・市民ギャラリーが7月にオープンし、県内2番目の数を誇る閲覧席や、県内初の図書館利用者向けショート託児サービス、中高生が気軽に集える時間帯もある研修・会議室など多くの方々にオープン以来ご利用いただいています。また、小中学校校舎・屋内運動場等の学校施設の耐震化については、当初の耐震改修計画を1年前倒して実施してきましたが、八千代中学校校舎以外に勝田台小学校校舎などの耐震改修の実施により、本年3月末までに完了となります。また、2か年プログラムの「財政リスク回避戦略」の工程表に位置づけた「公共施設等総合管理計画」は昨年7月に策定し、同計画に基づき、公共施設等の効率的な施設管理及び有効活用を図り、未来を見据えた最適な公共サービスの提供を目指します。

このような市民の安心・安全に配慮した事業に加え、子育て支援策の充実など市長マニフェストの実現に向け取り組んできましたが、昨年行った「市民意識調査」の結果では、本市への愛着がある方は75.4パーセントに達し、住み続けたいとの意向をお持ちの方も79.8パーセントに上っているなど、いずれも比較的高い値を維持しています。「八千代市人口ビジョン」の策定に当たって実施した、将来人口推計においては、本市の人口は今後10年程度増加するものと見込まれており、20万人を突破するものと想定しています。その一方で、生産年齢人口の減少などによる人口構成の変化が確実に進んでおり、人口減少に転じた後には、高齢化の加速が見込まれています。

政治学者の故・松下圭一氏は新書『自治体は変わるか』に「国のナショナル・ミニマム、国際機構のインターナショナル・ミニマムと緊張関係を持つ、自治体の個性ある、質の豊かな市政政策準つまりシビル・ミニマムの再確認が、今日の財政緊迫・財務責任を前に、バラマキ・モノトリーを越えた長・議会の課題として、改めて浮かび上がっています」と記しています。この内容を改めて噛み締めるとともに、本市の市政運営に引き続き取り組んでいきます。

予算編成と規模

本市では、市税収入の増が見込まれるものの、引き続き厳しい財政環境が見込まれるため、財政規律に配慮した財政運営、予算編成が求められています。28年度予算編成にあたっては、「総合計画の効果的な推進」、「公共施設等総合管理計画の推進に基づく、公共施設最適化の推進」、「行財政改革の積極的な取り組みの予算への反映」、「監査結果に基づく指摘・要望事項への迅速な対応」の4つの基本的方針を掲げ、予算編成を行いました。

歳入については、前年度当初予算と比較すると、自主財源については、景気の回復や徴収率の向上に伴い、市民税個人分、市民税法人分、固定資産税等の増により、市税全体としては大幅な増を見込み、依存財源については、消費税率引上げによる地方消費税交付金、地方交付税のほか、焼却炉施設基幹的設備改良事業、子ども・子育て支援新制度、低年金

受給者への支援のための臨時福祉給付金などによる国庫支出金で増を見込んでいます。また、市債については、小中学校耐震改修計画の終了などにより大幅な減となっており、「八千代市財政運営の基本的計画」の目標達成に向け、元金償還額以下の発行予定としました。不足する財源については、やむなく臨時財政対策債の活用のほか、財政調整基金繰入金により財源の確保を図りました。

歳出については、保育園及び学童保育所の待機児童対策、出産直後の母子に対しサポートを行う産後ケア事業、保育園の耐震化、公民館の耐震診断、防災行政用無線デジタル化再整備に係る実施設計、東消防署建設基本設計、高規格救急自動車更新、京成大和田駅バリアフリー化整備に対する補助、公共施設老朽化への対応など、限られた財源の中、選択と集中により事業の優先度を量り、市民ニーズに即した安全・安心、子育て施策に配慮した事業を重点的に計上しました。

28年度当初予算の規模は、一般会計では559億9,000万円(※1)。保育園及び学童保育所の待機児童対策、臨時福祉給付金等給付事業、可燃ごみの外部処理業務委託などにより、扶助費・物件費で大幅な増となりましたが、小中学校耐震改修計画の終了に伴う普通建設事業費の大幅な減により、前年度当初予算と比較して8,082万4,000円、0.1%の減(※2)となっています。

特別会計については、保険給付費等の減に伴う国民健康保険事業の大幅な減少により、4つの特別会計の総額は351億6,400万3,000円、前年度比で2.8%の減となりました。公営企業会計では、水道事業会計と公共下水道事業会計を合わせて114億4,143万2,000円、前年度比7.9%の減となっています。

また、一般会計、特別会計、公営企業会計を合わせた市全体の予算規模は、前年度比2.0%減の1,025億9,543万5,000円(※3)となりました。

※以下の説明は修正可決を受けた数字です。

※1 560億8,100万円

※2 1,017万6,000円、0.01%の増

※3 1.9%減の1,026億8,643万5,000円

国勢調査の速報結果が公表されました

平成27年国勢調査の「人口速報集計」が、2月26日に総務省統計局から公表されました。詳しい結果は同局ホームページをご覧ください。確定人口・世帯数は28年10月に公表される予定です。(総合企画課統計調査班)

八千代市	人口	男	9万5,234人 (9万3,688人)
		女	9万7,985人 (9万6,093人)
	総数	19万3,219人 (18万9,781人)	
	世帯数	7万8,206世帯 (7万4,824世帯)	
千葉県	人口	男	309万5,391人
		女	312万8,636人
	総数	622万4,027人	
	世帯数	260万7,079世帯	
全国	人口	男	6,182万9,237人
		女	6,528万 810人
	総数	1億2,711万 47人	
	世帯数	5,340万3,226世帯	

※()内は平成22年国勢調査の確定人口・世帯数

清掃センター焼却炉のダイオキシン類測定結果は基準値以下

清掃センター焼却炉のダイオキシン類の測定結果は次のとおりで、国の基準値を下回りました。

3号炉排ガス	測定日	測定結果	基準値
12月10日	0.000032ナノグラム	0.1ナノグラム	

※1 ナノグラムは10億分の1グラム(清掃センター☎483-4521)

アライグマ・ハクビシンの被害でお困りの人へ 捕獲用小型箱わなを市で設置します

生活被害や農業被害をもたらすアライグマ・ハクビシンを捕獲するため、小型箱わなの設置を行っています。被害でお困りの人はご連絡ください。

▼捕獲対象 アライグマ・ハクビシン ▼捕獲範囲 市内全域 ▼問い合わせ・申し込み 電話か直接各担当課へ。【生活被害】環境政策室(農業被害) 農政課 (環境政策室・農政課)

市内で看護師等の業務に従事する 意思のある人に修学資金をお貸しします

看護師等修学に必要な資金を無利子で貸し付けます。原則返還が必要ですが、一定の条件を満たした場合は、貸付金の返還を猶予・免除します。

▼貸付対象 看護師等養成施設に在学し、将来市内で看護師等の業務に従事する意思のある人 ▼貸付額 大学、大学院、助産師学校：月5万円。看護師養成所または准看護師養成所：月3万円 ▼申し込み 申請書に必要な書類を添付し、5月1日(日)必着で〒276-8501市役所健康福祉課に郵送または持参。応募多数の場合は選考。申請用紙は同課窓口で配布、市ホームページからダウンロードもできます。詳しくは市ホームページまたは同課へ (健康福祉課)